

- 問1 太閤検地において、土地の収穫量を米の量で表した単位を何という？
- 問2 桃山文化を代表する画家で、城郭の障壁画などに金箔を多用し、華やかで力強い作品を残した人物は誰？
- 問3 天正遣欧少年使節を派遣した、九州のキリシタン大名は誰？
- 問4 1575年、長篠の戦いで織田・徳川連合軍に敗れた武田氏の当主は誰？
- 問5 喜望峰経由の航路が開拓されたことで、ヨーロッパと直接貿易ができるようになった地域はどこ？
- 問6 ルネサンスにおいて復興させようとした、ギリシャやローマの過去の文化を何という？
- 問7 日本にキリスト教を広めるために来日した宣教師が所属していた組織を何という？
- 問8 織田信長や豊臣秀吉の時代に、大名や豪商の富を背景に栄えた文化を何という？
- 問9 ルネサンスの中で注目され、中世の神中心の考え方から大きく変化した、個人の価値を認める考え方を何という？
- 問10 ヨーロッパ諸国が新しい航路を切り開き、海外進出が活発になった時代を何という？
- 問11 城郭の内部の壁や襖（ふすま）を飾るために制作された、金箔を多用した豪華な絵画を何という？
- 問12 豊臣秀吉が、キリスト教の布教が自らの支配の妨げになると考え、1587年に出した宣教師の国外追放を命じる法令を何という？
- 問13 安土桃山時代、豊臣秀吉が行った刀狩は、農民によるどのような行動を防止することを主な目的としていた？
- 問14 豊臣秀吉による朝鮮出兵を、別名で何という？
- 問15 豊臣秀吉が1590年に征伐し、全国統一を達成する最後の決め手となった関東の大家を何という？
- 問16 16世紀のヨーロッパで勢力を拡大し、カトリック教会の自己改革を促した宗派を何という？
- 問17 織田信長や豊臣秀吉の時代に活発に行われた、ポルトガルやスペインなどとの外国貿易を何という？
- 問18 安土桃山時代にヨーロッパから伝わった技術により、国内で普及が進んだ学問の分野を何という？
- 問19 1519年に世界一周の航海に出発した人物は誰？
- 問20 豊臣秀吉が全国の大名に対し、互いに領地争いをすることを禁じた法令を何という？
- 問21 足利義昭が織田信長との対立によって追放された都市はどこ？
- 問22 長篠の戦いで、織田信長が武田軍に対して組織的に活用した兵器の部隊を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	答え 石高	太閤検地で全国の土地の収穫量を米の量(石)で計算する「石高」制が確立されました。1石は約150キログラムの米で、当時の大名や武士は、自分が領地からどれくらいの収入を得られるか、またどれくらいの軍役を課されるかをこの石高で計算しました。
問2	答え 狩野永徳	狩野永徳は、狩野派の絵師として活躍し、金箔をふんだんに使った「唐獅子図屏風」などの名作を残しました。当時の権力者である織田信長や豊臣秀吉から重用され、安土城や大坂城の障壁画を描くなど、桃山文化の華やかな雰囲気を象徴する役割を果たしました。
問3	答え 大友宗麟	宗麟らは、宣教師ヴァリナーノの助言を受けて、1582年に4人の少年をヨーロッパのローマ教皇のもとへ派遣する使節団を組織しました。これが天正遣欧少年使節として知られる歴史的な出来事です。
問4	答え 武田勝頼	1575年の長篠の戦いにおいて、武田勝頼は自慢の騎馬隊を率いて織田軍に挑みました。しかし、織田信長が用意した馬防柵と、鉄砲隊による組織的な集中射撃の前に壊滅的な打撃を受けました。
問5	答え アジア	喜望峰を通るルートの発見により、ヨーロッパの商船は直接アジアの港に寄港できるようになりました。これにより輸送コストが下がり、効率的な物流網が構築されました。
問6	答え 古典文化	ルネサンスでは、それまで顧みられていなかった古代ギリシャ・ローマの文学や哲学、美術を再発見し、そこにある「人間らしさ」を学び直すという動きが起こりました。これは単なる模倣ではなく、新しい表現を生み出すためのエネルギーとなりました。
問7	答え イエズス会	イエズス会は1534年に結成され、フランシスコ・ザビエルらが日本へ渡来しました。彼らは各地で布教を行い、キリスト教だけでなく、西洋の科学技術や活版印刷術を日本にもたらしました。また、南蛮貿易の窓口としても深く関わり、九州の戦国大名とも接触しました。
問8	答え 桃山文化	桃山文化は、大名や新興の豪商の財力を背景に、極めて華やかで壮大なのが特徴です。代表例として姫路城などの城郭建築、狩野派による障壁画、千利休が完成させた茶の湯などがあります。
問9	答え 人間性	ルネサンスにおいて、人間は本来自由で創造的な力を持つ存在であるとする「人間中心主義」が提唱されました。個人の能力や美意識を重視するこの思想は、絵画、彫刻、文学といった分野で独自の個性を表現することにつながりました。
問10	答え 大航海時代	羅針盤の改良や造船技術の向上を背景に、ポルトガルやスペインの船乗りたちが喜望峰経由や西回り航路を開拓しました。これにより、遠く離れた地域間での直接貿易が可能になり、キリスト教の布教も世界規模で拡大しました。
問11	答え 障壁画	障壁画は、襖や壁に描かれるため空間と一体化しており、当時の豪華な建築に欠かせない存在でした。金箔を多用して光を反射させることで、薄暗い部屋を明るくし、権力者の威厳を際立たせる効果がありました。代表例として狩野永徳の作品などが有名です。
問12	答え パテレン追放令	戦国時代から安土桃山時代にかけて、キリスト教は急速に広まりました。しかし、九州地方での寺院の破壊や、権力に対する脅威を感じた豊臣秀吉は、1587年にパテレン追放令を出しました。この法令により宣教師の国外退去が命じられましたが、南蛮貿易による利益を考慮したため、すぐには完全な禁教には至りませんでした。後の江戸幕府による鎖国体制への先駆けとなる政策の一つです。
問13	答え 一揆	豊臣秀吉が実施した刀狩は、農民から武器を取り上げることで、こうした一揆の発生を未然に防ぐことを主な狙いとしていました。また、没収された武器は、大仏建立の釘として再利用されるなどと称されました。
問14	答え 文禄・慶長の役	この出兵は、時期によって二回に分けられます。最初の1592年の戦いを「文禄の役」、1597年から始まった二度目の戦いを「慶長の役」と呼び、これらを総称して「文禄・慶長の役」と呼称します。朝鮮軍の必死の抵抗や、李舜臣率いる水軍による反撃、さらに明の援軍により、戦況は長期化して膠着状態に陥りました。
問15	答え 北条氏	豊臣秀吉は天下統一を目指し、全国の名を従わせていきました。1590年、小田原城を拠点に勢力を誇っていた北条氏を討つために大軍を派遣しました。この小田原攻めにより北条氏が滅亡したことで、秀吉による実質的な全国統一が達成されました。この出来事は、戦国時代が名実ともに終わりを告げた象徴的な出来事として歴史に記録されています。
問16	答え プロテスタント	16世紀、ドイツのルターらが始めた宗教改革により、多くの信者がカトリック教会から離脱し、新たにプロテスタントとして結集しました。これに対抗するため、カトリック教会内部でも自己改革が進められ、イエズス会による海外への布教活動が活発化しました。
問17	答え 南蛮貿易	大航海時代の到来により、日本へキリスト教とともにヨーロッパの商人が渡来しました。彼らとの間で行われた南蛮貿易では、鉄砲や火薬、ガラス製品などが輸入され、日本の産業や生活に大きな影響を与えました。この貿易の利益は、当時の大名たちにとって大きな財源となりました。秀吉がキリスト教を厳しく制限しながらも、貿易を完全には禁止できなかった重要な理由の一つです。
問18	答え 西洋医学	当時、活版印刷術の伝来により、これまで書写によって伝わっていた知識が、本として大量に流通できるようになりました。西洋医学の知識もその一つで、宣教師たちによって紹介された医学書や解剖の知識が普及のきっかけとなりました。これらは日本独自の医療観に大きな刺激を与えました。
問19	答え マゼラン	マゼランは5隻の船団を率いてスペインを出港しました。南アメリカ大陸南端の海峡を抜けて太平洋を横断するという過酷な航海でしたが、彼の船団は世界で初めて地球を一周しました。なお、マゼラン自身はフィリピンでの争いで命を落としたため、帰還したのは部下のエルカーノらわずか1隻の船でした。
問20	答え 総無事令	秀吉は、自らが天下人であることを内外に認めさせるため、武力で解決することを制限しました。総無事令は、大名間の領地争いを禁止し、違反した者は秀吉の敵と見なすという厳しい内容でした。この法令により、全国の領土問題は秀吉の裁定に委ねられるようになり、平和な近世社会を築くための強力な統治手段となりました。
問21	答え 京都	足利義昭は、織田信長を頼って京都に入り、幕府の再興を目指しました。しかし、信長の強大な権力を前に、義昭は傀儡(かいらい)であることを拒み、両者の関係は決定的に悪化しました。結果として、義昭は京都から追放されることとなりました。
問22	答え 鉄砲隊	長篠の戦いで織田信長は、多くの鉄砲を用意し、数千人の兵を鉄砲隊として組織しました。馬防柵を築いて武田の騎馬隊の突撃を封じ込め、代わる代わる射撃を続ける戦法で勝利を収めました。